

2021.07.28

## 【Communique 1】

## 【大会特別規則】

2021年(公財)日本自転車競技連盟の規則を適用する。

## 第1条(スプリント)

- (1) 予選上位12名による1/8決勝から開始する。
- (2) 1/8決勝、1/4決勝はそれぞれ1回戦制とする。
- (3) トラック2周で行う。

## 第2条(ケイリン)

- (1) 400mのトラック4周で行う。
- (2) ペーサは残り2周回のホーム側中央線で離脱する。
- (3) 1回戦の各組2位までが1/2決勝へ進む。
- (4) 敗者復活戦は4組で行い、各組上位1名が1/2決勝へ進む。
- (5) 1/2決勝の各組上位3名が決勝へ進む。
- (6) 7-12位決定戦は行わない。

## 第3条(タイムトライアル、インディヴィデュアル・パーシュート)

- (1) ホーム、バックの中央線から2名による同時スタートとする。
- (2) 女子ジュニア、ユースのインディヴィデュアル・パーシュートにおいてはHのみのスタートとする。
- (3) タイムレースによる一発決勝とし、追い抜きがあった場合でも両者完走し、タイムを計時する。
- (4) 相手競技者に追い抜かれた競技者は、その直後を追走することができない。また再度追い抜きをすることもできない。その場合は失格とする。

## 第4条(チーム・スプリント、チーム・パーシュート)

- (1) ホーム、バックの中央線から2チームによる同時スタートとする。
- (2) タイムレースによる一発決勝とする。
- (3) (出走選手リストを当該競技開始1時間前までに書面で招集に提出すること。
- (4) 女子チーム・スプリントは、2名でチームを構成する。

## 第5条(ポイント・レース)

- (1) 30km(75周回)、スプリント数15回で行う。
- (2) 認められる事故が起きた場合のニュートラリゼーションは3周回まで与えられる。
- (3) ニュートラリゼーション中にレースが残り1km(残り2.5周回)に入った場合は、競走に復帰できない。

## 第6条(オムニアム)

- (1) 予選としてスクラッチ・レースを行い、各組上位16名は本戦へ進む。本戦は32名で行う。(番組編成上、スクラッチ・レースを予選とする。)
- (2) スタート位置は各ラウンドのスタートリストに示された位置とし、内側の競技者はホルダーによって支えられる。
- (3) 棄権した競技者はDNFとして次の種目への出場はできない。

主催・主管：JBCF(一般社団法人全日本実業団自転車競技連盟)

後援：一般社団法人日本競輪選手会

ツアー協賛：(株)シマノ/シマノセールス(株)/パナソニックサイクルテック(株)/(株)あさひ/(一社)自転車協会  
(株)パールイズミ/弱虫ペダル

協力：大阪府自転車競技連盟

- (4) スクラッチ・レースとテンポ・レースにおいて、2周回追い抜かれた競技者は除外される。
- (5) テンポレースは競技の2周回完了時に、スプリントラップ開始のベルを鳴らす。
- (6) エリミネーション以外の種目において除外された競技者は、40ポイント減算のペナルティが与えられる。
- (7) エリミネーションは、1周回の競技外周回を経た正式スタートの後、毎周回除外を行う。  
残り2名が確定したら、ベルを鳴らし最終周回を示す。

### 第7条 (バイク・インスペクション)

- (1) 出走10分前までに招集でバイクの検査を受けること。
- (2) ジュニアのギア比は制限しない。

### 第8条 (セレモニー)

- (1) 表彰式には、公式な服装で臨まなければならない。  
公式な服装とは、競技用の装備またはチームウェアを指す。サンダル履きは認めない。
- (2) 新型コロナウイルス感染症防止対策の観点から、対象者の登壇および写真撮影のみとする。

### 第9条 (その他)

- (1) タイム・レースにおいては、競技中各チーム1名までコーチとしてトラック内の立ち入りを認める。
- (2) 撮影許可を受けていない者のトラック内での撮影は禁止する。
- (3) 次発走の競技者は、発走準備を整えてスタート付近に待機すること。
- (4) スターティングマシンを使用するスタートでは、50秒のカウントダウンを行う。
- (5) フィニッシュした選手、除外された選手は、速やかにトラックから離れ、インフィールドに退避すること。
- (6) スプリント、ケイリンの競技者、およびスクラッチ、ポイントレース、オムニアムで走路内側からスタートする競技者のホルダーはチームより供出すること。
- (7) ゼッケン・ホルダーを使用する場合は、ゼッケンの折り込み、変形等は認めない。(ペナルティの対象)  
ゼッケン・ホルダーに収まらない場合は、ゼッケンを安全ピンで止めること。

以上

レースディレクター 藤田将志  
チーフコミッサー 石井 章